

3コマ目 Raspberry Piの設定





Raspberry Pi**の説明**





Raspberry Piとは?

- 名刺サイズぐらいの超小型コンピュータ
 - 6000円弱の値段かつ消費電力が低い
 - マウス, キーボード, ディスプレイなどを接続できる
 - ・ハードウェアに繋げやすいため、電子工作が容易にできる
 - 『プログラム』+『電子工作』+『インターネット』で様々なことができ

る





Raspberry Pi 3B+の性能

	スペック
CPU	1.4GHz クアッドコア Cortex-A53(ARMv8, 64bit)
メモリ	1GB DDR2 450MHz 低電圧 SDRAM
USBポート	4
ネットワーク	10/100/1000Mbpsイーサネット,802.11n/ac無線LAN
ビデオ出力	HDMI, DSI
音声出力	3.5mmジャック,HDMI
低レベル出力	GPIO×26, UART, I2C, SPI, I2Sオーディオ, +3.3V, +5V, GND
必要電源	5V, Micro USB Micro-B
サイズ	85 × 56 × 18mm(約45g)



Raspberry Pi 3B+の構成

ディスプレイコネクタ

MicroSDカード差し込み口 ※裏にあります

> 電源供給用 Micro USBコネクタ

GPIOピン Raspherry Pt. 3 Madel. B+ カメラコネクタ

USBコネクタ

LANコネクタ

HDMIコネクタ

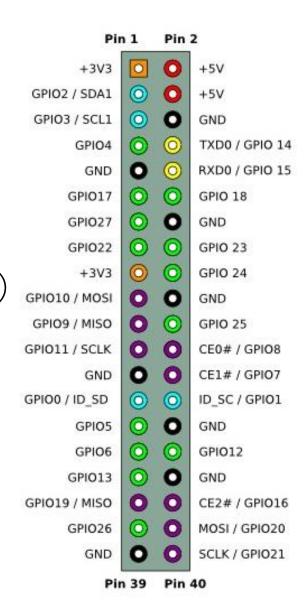
オーディオコネクタ



GPIOについて

- GPIOとは導線を接続することにより電子回路と接続できるようになるインターフェース
- 各ピンは図のようにそれぞれ役割を持つ
 - 3.3V, 5V:電圧を常に供給するピン(ON/OFFは出来ない)
 - GND:電圧が0になるピン
 - GPIO:デジタル入出力が出来るピン

https://elinux.org/File:Pi-GPIO-header.png





Raspberry Pi**用**MicroSDカード作成





Raspberry Piを動作するために

- OS(オペレーティングシステム)を書き込んだSDカードを Raspberry Piに挿入することでOSが動作する
 - ・本講習では、RASPBIAN(ラズビアン)を使用する
 - 受講者PCでこの必要なSDカードを作成する

- RASPBIANはLinux系OSの1つであり, 簡単にプログラミング環境を構築することができる
 - ・本講習では、PythonプログラムをRaspberry Piで動かす



必要な機器・環境

- Raspberry Pi 3B+
- microSDカード
- 受講者PC(インターネット接続が必要)
- microSDカード用ライタ
 - インターネット接続しているmicroSD・SDスロット付きPCがあれば不要
- USBキーボード, USBマウス
- ディスプレイ(HDMI接続可能)
- HDMIケーブル,マイクロUSB接続の電源



RASPBIANのOSイメージをダウンロード

• Raspberry Pi 用 OS RASPBIAN "stretch"をダウンロード http://ftp.jaist.ac.jp/pub/raspberrypi/raspbian/images/raspbian-2018-04-19/

<u>Name</u>	Last modified	Size D	Description
Parent Directory			
2018-04-18-raspbian-stretch.info	2018-04-18 10:28	183K	
2018-04-18-raspbian-stretch.zip	2018-04-18 10:28	1.7G	
2018-04-18-raspbian-stretch.zip.sha1	2018-04-19 23:22	74	
2018-04-18-raspbian-stretch.zip.sha256	2018-04-19 23:22	98	
2018-04-18-raspbian-stretch.zip.sig	2018-04-18 21:39	473	
2018-04-18-raspbian-stretch.zip.torrent	2018-04-19 23:22	33K	

• ファイル yyyy-mm-dd-raspbian-stretch.zip を解凍



MicroSDカードライタ準備

- MicroSDカードライタをPCに接続
 - PCのUSBポートにSDカードライタを接続
 - PCにMicroSDスロットが付属している場合はこの作業は不要

• MicroSDカードをMicroSDカードライタに挿入



SDカードフォーマッターダウンロード

•以下のURLから,SD Card Formatter 5.0.1 Setup JP.exeを ダウンロード

https://www.sdcard.org/jp/downloads/formatter_4/



• SD Card Formatter 5.0.1 Setup JP.exeをインストールする



SDカードをフォーマット

- SD Card Formatterでフォーマット
 - 1. SD Card Formatterを起動
 - 2. [カード選択]にSDカードのドライブを指定
 - 3. 「フォーマット」ボタンをクリック





Win32DiskImagerのダウンロード

• 以下のURLから win32diskimager-vX.X-binary.zip を ダウンロード

http://sourceforge.jp/projects/sfnet_win32diskimager/



• ファイル win32diskimager-vX.X-binary.zip を解凍



RASPBIANのOSイメージの書き込み

- Win32DiskImagerで書き込み
 - 1. Win32DiskImagerを起動
 - 2. 「Image File」に解凍した RASPBIAN のイメージファイルを指定
 - 3. 「Device」にSD カードのドライブを指定
 - 4. 「Write」ボタンをクリック

※書き込みには10分ほどかかる





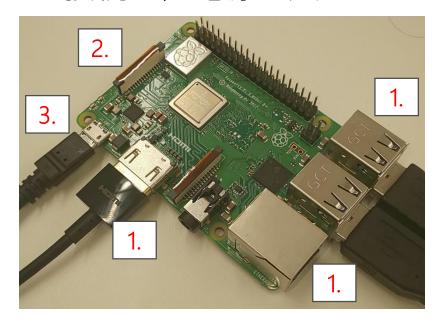
Raspberry Piのログイン手順





Raspberry Piのログイン手順

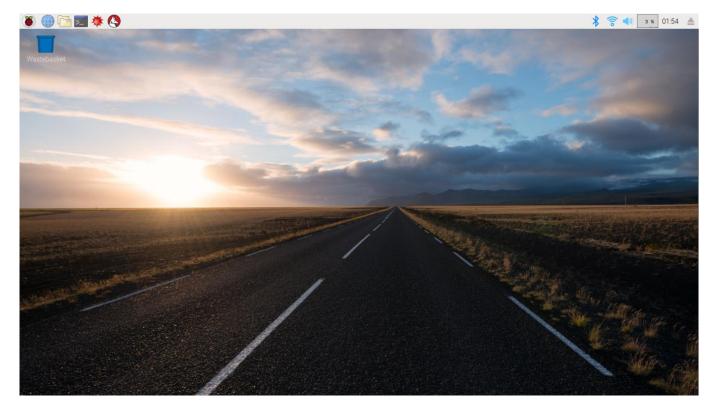
- Raspberry Piの起動準備
 - 1. Raspberry PiにHDMIケーブル,キーボード,マウスを接続
 - 2. SDカードをRaspberry Piに差し込む
 - 3. モバイルバッテリを接続し、電源を入れる





Raspberry Piのログイン手順

- Raspberry Piの起動準備
 - 4. ディスプレイに画面が表示されるのを待つ







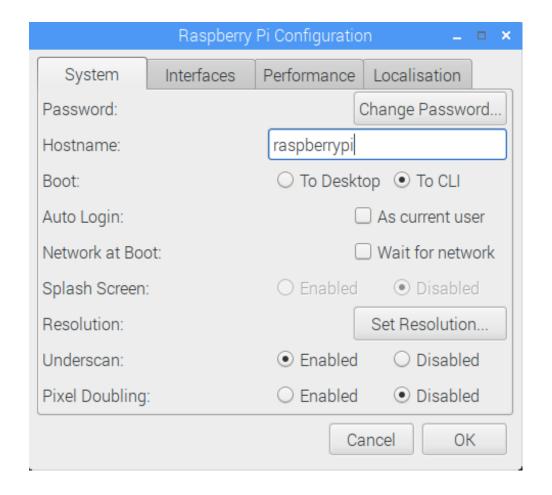


• Raspberry Pi Configuration 「Menu (画面左上ラズパイのアイコン)」→「Preferences」→ 「Raspberry Pi Configuration」を選択すると以下の画面が表示



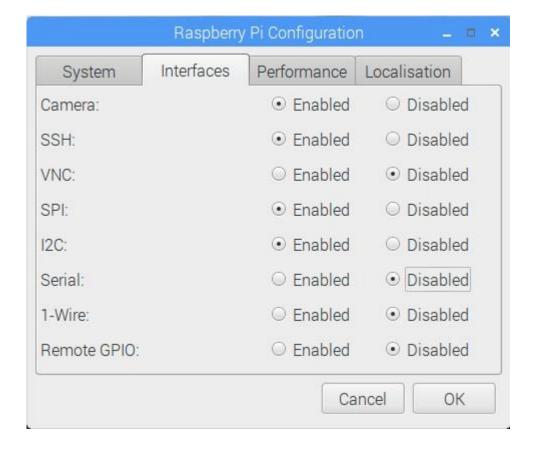


- Systemタブ
 - 1. [Hostname]:hostnameを変更
 - 2. [Boot]:「To CLI」に変更
 - 3. [Auto Login]: 「As current user」の チェックをはずす





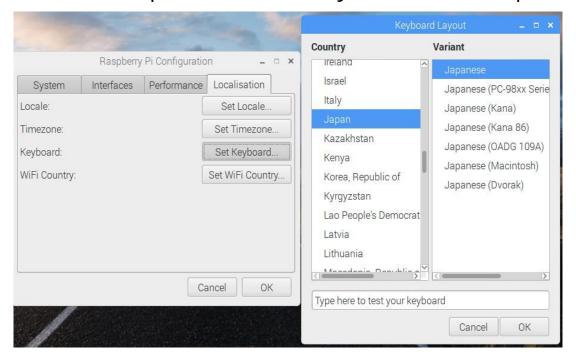
- Interfacesタブ
 - 1. Camera: 「Enabled」を選択
 - 2. SSH:「Enabled」を選択
 - 3. SPI:「Enabled」を選択
 - 4. I2C:「Enabled」を選択





- Localisationタブ
 - Keybord:

「Set Keyboard」 → 「Japan(Country)」 → 「Japanese(Variant)」



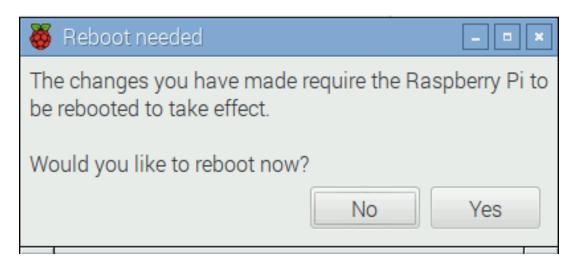


- Localisationタブ
 - WiFi Country: 「Set WiFi Country」 → 「JP Japan」





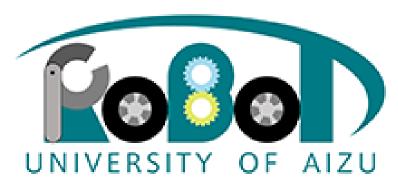
- Raspberry Pi Configuration
 - 各設定終了後、「OK」ボタンをクリック
 - 再起動確認画面が表示するので「YES」を選択し、再起動



• 再起動したらログイン(ID:pi , パスワード: raspberry)



無線ネットワーク(Wi-Fi)設定





CUIモードからGUIモードに変更

- Wi-Fiの設定のためにCUIモードからGUIモードに変更
- 以下のコマンドでGUIモードに変更

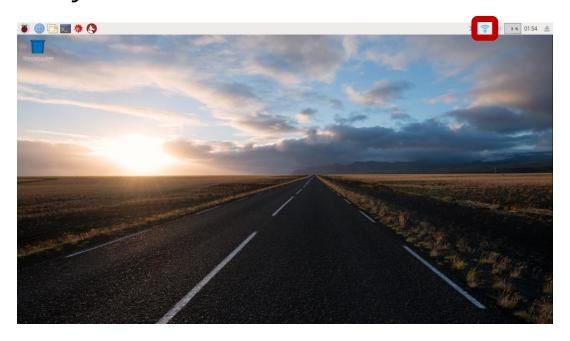
\$ startx

• ディスプレイに先ほどと同じ画面が出るまで待つ



GUIでのWi-Fi設定方法

- 1. 画面右上の無線アイコンをクリック
- 2. 接続したいSSIDをクリック(SSDIが表示されない場合は少し待つ)
- 3. 「Pre Shared Key」にパスフレーズを入力し,「OK」をクリック



会津大学ロボット教材 ©2017-2019 The University of Aizu



ターミナルの起動

- IPアドレス確認のためにターミナルを起動
- 画面左上のウィンドウのマークをクリック





- PCからRaspberry Piにアクセスするために,IPアドレスを確認する
- ・以下のコマンドでIPアドレスを確認できる

\$ ifconfig wlan0

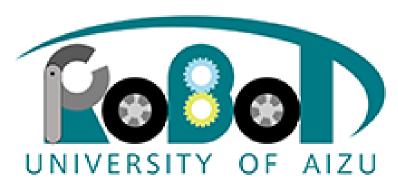
• 表示内容の inet addr:192.168.xxx.xxx を確認する

192.168.xxx.xxx が, IPアドレスとなる

30



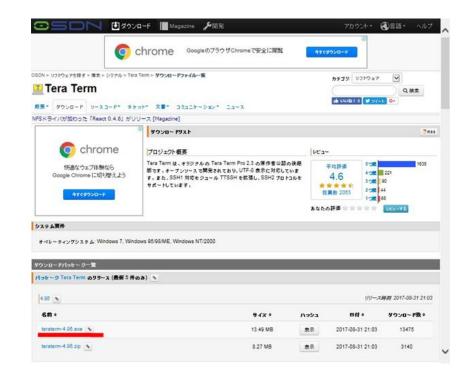
PCからRaspberry Piへ接続





TeraTermをインストール

- 以下URLへアクセス https://ja.osdn.net/projects/ttssh2/releases/
- teraterm-X.XX.exeをダウンロード
- teraterm-X.XX.exeを ダブルクリックしてインストール





TeraTermの使い方

- 1. TeraTermを起動
- 2. ホストに **ホスト名.local** または IP**アドレス**を入力し, OKをクリック





TeraTermの使い方

3. IDとパスワード入力 ユーザ名:**pi** パスフレーズ:**raspberry**

> SSH認証 この画面が出た場合, ログイン中: raspFabo.local 続行ボタンを押して 認証が必要です。 ください。 ユーザ名(N): バスフレーズ(P): ▼バスワードをメモリ上に記憶する(M) □ エージェント転送する(0) プレインテキストを使う(L) ○ RSA/DSA鍵を使う 秘密鍵(K): ○ rhosts(SSH1)を使う ローカルのユーザ名(U): ホスト鍵(F): ○ チャレンジレスポンス認証を使う(キーボードインタラクティブ)(○ ○ Pageantを使う ■ 既存の鍵を、新しい鍵で上書きする(R) 接続断(D) 接続断(D)

4. ログイン完了 以下の画面が表示

